



保健事業について

令和4年8月25日(木)

国保運営協議会

国保にかかる保健事業

- (1) 特定健診・がん検診等
 - ・集団（まちぐるみ健診）
 - ・個別（指定医療機関）
- (2) 特定保健指導
- (3) 糖尿病性腎症重症化予防
- (4) 兵庫県立大学との共同研究

(1) 特定健診・がん検診等 —目的・内容—

【目的・期待される効果】

- ・ **早期発見治療**
- ・ **健康意識向上**
- ・ **疾患の重症化予防**
- ・ **医療費抑制** 受診者と未受診者で、生活習慣病にかかる医療費は約6.3倍違う。

【集団／まちぐるみ健診】

- ・ 特定基本健診 40-74歳、国保・社保等
- ・ 基本健診 19-39歳、75歳以上
- ・ がん検診等 肺(結核含)・アスベスト、胃ABC、歯科：19歳以上
胃、大腸、肝炎、骨粗しょう症：40歳以上
喀痰：50歳以上 前立腺：50歳以上男性

【個別／指定医療機関】

- ・ 特定基本健診 40-74歳、国保
- ・ がん検診 子宮頸：21歳、20歳以上偶数年齢の女性
乳：41歳、40歳以上偶数年齢の女性

(1) 特定健診・がん検診等 —実績・課題—

【実績】

■ 特定健診受診率（40-74歳国保）

◎ **R2年度37.1%** R元年度40.2% H30年度37.7% H29年度37.3%

新型コロナウイルス感染症の影響で受診控え等がみられ、受診率が低下

■ がん検診受診率（国保以外を含む）

（R1年度実績） 胃がん10.8% 肺がん26.1% 大腸21.6% 子宮頸16.2% 乳19.7%

（R2年度実績） 胃がん 9.6% 肺がん22.8% 大腸18.8% 子宮頸14.2% 乳17.5%

（R2県平均） 胃がん 7.0% 肺がん10.9% 大腸14.7% 子宮頸14.9% 乳16.8%

【課題等】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度は受診率が減少
- ・ 子宮頸がん検診の受診率が、県平均を下回る。
…R4年度より、まちぐるみ健診で「子宮頸がん・乳がん検診」を実施
- ・ 受診の結果、「要精密検査」の判定を受けた方のうち約半数が医療機関での精密検査を受診していない。（精密検査の受診率：平均52.2%）

（２）特定保健指導（はつらつ健康アップセミナー）

—目的・内容—

【目的】

内臓脂肪型肥満に着目。

要因となっている生活習慣を見直し改善するための保健指導を行う。

糖尿病等の有病者、予備軍を減少させる。

【対象：国保】

- ・ 積極的支援、動機づけ支援 腹囲やBMI、血糖・脂質・血圧の数値が国基準以上
- ・ 40-64歳でHbA1cが5.6-6.4の糖尿病予備軍 淡路市独自
- ・ 39歳以下でメタボ、メタボ予備軍 ・ 希望者 淡路市独自

【セミナー（集団）の内容】

- ・ 初回面接（結果の説明と将来どのような自分になりたいか目標設定）
- ・ 食事の振り返り（栄養士・保健師デモと前日の食事の振り返り）
- ・ 活動量の振り返り（運動指導士による運動の実践）
- ・ セミナーの振り返りと取組の継続について考える。

※積極的支援、動機づけ支援対象者は、個別訪問の委託事業あり

(2) 特定保健指導 (はつらつ健康アップセミナー)

—効果・実績・課題—

【効果】

- ・ 健診結果を見直すきっかけに。
- ・ セミナー中に食事や運動の改善に取り組み、データの改善がみられる方も。
- ・ 健康意識の向上 日常生活で、継続し意識している方が多い。

【実績】

■ 特定保健指導受診率

◎ **R2年度63.3%** R元年度58.6% H30年度40.9% H29年度23.9%

■ 数値改善者（セミナー参加者）

◎ **R3年度 23人** R2年度 10人

【課題】

- ・ セミナー参加者の減少
- ・ 経年対象者への内容変更等
- ・ 医療との連携
- ・ 受診率は上昇傾向だが、メタボ該当者も増加

県大と共同で
内容のカスタマイズを実施中

（３）糖尿病性腎症重症化予防 —目的・内容—

【目的】

未受診、治療中断者等に受診勧奨を行い、治療に結び付け、腎不全や人工透析への移行等、重症化を予防する。

【対象：国保】

- ・ **未受診者**：特定健診受診者のうち、糖尿病医療未受診者(糖尿病薬未使用の者)
- ・ **治療中断者**：過去に糖尿病治療歴があり、最終の受診から6か月以上経過しても受診した記録がない者

R4年度計画中

- ・ **治療中者**：かかりつけ医が保健指導や栄養指導の必要性があると判断した者

【内容】

- ・ 未受診者、治療中断者には、受診勧奨通知を行い、電話連絡や訪問で、医療機関の受診を勧める（一部委託）。
- ・ 対象者の生活実態を聞き、個人にあった生活習慣改善に向けた保健指導や栄養指導を実施。
- ・ 「腎臓を守るための教室（3回シリーズ）」を開催。

（３）糖尿病性腎症重症化予防 —効果・実績・課題—

【効果】

- ・ 訪問勧奨を実施した対象者が、医療機関を受診した。
- ・ 心臓血管のステント手術をした既往のある受診中断者が、再度受診につながった。

【実績】

■未受診者対策

R3年度 対象者29人 受診勧奨29人 面談・訪問実施6人 受診19人

■中断者対策

R3年度 対象者19人 受診勧奨19人 面談・訪問実施13人 受診6人

【課題】

- ・ 特定健診は受診されるが、精密検査になってもなかなか医療機関を受診されない方も。
- ・ 自分なりの取り組みをしている方も。
- ・ データと関連付けた生活習慣の改善。

（４）兵庫県立大学との共同研究 — R 1 ～ 3 年度 —

【目的】

健診、検診データを分析し、地域の特徴を明らかにする。

データを基に糖尿病重症化予防における保健指導プログラムを構築する。

【成果】

- ・ 地域別分析（HbA1c）…漁港のある地域で基準値超過率が高い
- ・ 悪化予測（総合判定別）
- ・ 地区別ヒートマップの作成（健診結果とアンケート）…地区特性の見える化
- ・ 強みを生かした特定保健指導プログラムの作成

【課題】

- ・ 悪化予測の精度向上
- ・ 強みを生かした特定保健指導を、さらに充実していく必要がある。
- ・ マンパワー不足

（４）兵庫県立大学との共同研究 — R 4 ～ 6 年度 —

【目的】

糖尿病重症化予防を目指し、特定保健指導対象者等を惹きつける保健指導システムを構築する。

【内容】

- ・ 特定保健指導の内容充実化
- ・ 健康行動に関連するインサイト調査
- ・ 保健師、管理栄養士の指導技術向上に向けた研修
- ・ AIチャットボット保健指導アプリ開発

【効果】

- ・ 健康行動に関するニーズを知り、プログラムに活かすことができる。
- ・ セミナーのプログラムを充実化することで、より自分事として捉え、生活改善行動につながりやすくなる。
- ・ 指導技術を向上し、質の良い保健、栄養指導を提供することができる。